

主題：イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことによって、
キリストのからだの実際の中で生きる

メッセージ 12

真実な方（本物の、実際である神）を知り、経験することによって、キリストのからだの
実際の中で生きる

聖書：Ⅰヨハネ1:5-7, 5:6, 20. Ⅱヨハネ1-2, 4. Ⅲヨハネ1, 3-4, 8

I. 神の御子が来て、わたしたちに理解力を与えてくださるのは、わたしたちが真実な方
（本物の、実際である神）を知るためです——Ⅰヨハネ5:20：

A. この理解力は、わたしたちの思いの機能であり、それは実際の霊によって照らされ、
力づけられて、わたしたちの再生された霊の中で、神聖な実際を理解するためで
す——エペソ4:23. ヨハネ16:12-15。

B. Ⅰヨハネ第5章20節の「知る」ことは、神聖な命の能力であり、それはわたしたち
の再生された霊の中で、実際の霊によって照らされた、新しくされた思いを通して、
真実な神を知ります——ヨハネ17:3. エペソ1:17。

C. Ⅰヨハネ第5章20節の「真実である彼（真実な方）」とは、神がわたしたちにとっ
て主観的になったこと、すなわち、客観的な神が、わたしたちの命と経験において
真実な方となったことを指します：

1. 真実な方は神聖な実際であり、真実な方を知ることは、この実際を経験し、享受
し、所有することによって、神聖な実際を知ることを意味します。

2. この事が示しているのは、神聖な実際（かつてわたしたちにとって客観的であっ
た神ご自身）が、わたしたちの経験において主観的な実際となったということだ
す——6節。

D. 真実な方の中にいることは、御子イエス・キリストの中にいることです——20節：

1. これは、神の御子イエス・キリストが真実な方であることを示しています。

2. これはまた、真実な方とイエス・キリストが相互内在の方法で一つであることを
示しています。

E. 20節の「これ (this)」とは、神のことです。彼は肉体と成ることを通して来て、
わたしたちに、彼が本物の神であることを知り、御子イエス・キリストの中で彼と
有機的に一つになる能力を与えられました：

1. この本物の、実際である神が、わたしたちにとって永遠の命であるのは、わたし
たちの再生された存在のために、あらゆるものとして彼にあずかるためです。

2. 「これ」とは、わたしたちがその中にいる、真実な神とイエス・キリストのこと
であり、わたしたちがこの方、真実な方の中にいることを含み、また実行的な意
味で、永遠の命が神であり、わたしたちは経験的に彼の中にいることを暗示しま
す。

3. したがって、真実な神と永遠の命は、わたしたちが真実な方の中におり、御子イ

イエス・キリストの中にいることを含んでいます。今や、わたしたちの経験において、真実な方は真実な神となり、イエス・キリストは永遠の命となります。

Ⅱ. もしわたしたちが真実な方を知り、経験するなら、わたしたちは神聖な光、神聖な真理、神聖な実際の中で生きます——1:5-7. 5:6. Ⅱヨハネ1-2, 4. Ⅲヨハネ1, 3-4, 8:

A. 神聖な光は、神の表現の性質であり、神聖な命の中で輝きます——Ⅰヨハネ1:5-6.

ヨハネ1:4. 8:12:

1. 光は、神の輝きであり、神の表現です。神が表現されるとき、その表現の性質が光です——Ⅰヨハネ1:5:

a. 神聖な光の中を歩くとは、神ご自身である神聖な光の中で生き、動き、行動し、存在を持つことです——7節。

b. 神聖な光の輝きは、古いものを新しくします——2:7-8。

c. もしわたしたちが神の分与の下にあるなら、わたしたちは光である神の性質にあずかり、彼の性質のこの要素をもって構成されます——ヨハネ1:5. Ⅱコリント4:6。

2. 神聖な光は神聖な命の中で輝きます——ヨハネ1:4. 8:12:

a. 聖書における偉大な原則は、光と命は相伴うということです——詩36:9。

b. 光がある所には命があり、命がある所には光があります——ヨハネ1:4。

3. 神聖な光は神聖な真理の源です——5, 9節. 18:37:

a. 神聖な光がわたしたちを照らすとき、それは神聖な実際である真理となります——8:12, 32。

b. 神聖な光が輝くとき、神聖なものがわたしたちにとって実際となります。

c. 光は真理の源であり、真理は光の流れ出であるので、わたしたちが光の中を歩くとき、わたしたちは真理を実行します——Ⅰヨハネ1:6-7。

B. 神聖な命の中で輝き、神聖な真理という結果になる神聖な光は、神が肉体と成った主イエスの中に具体化されています——ヨハネ1:1, 4, 14. 8:12. 9:5. 14:6:

1. ヨハネの文書の中で、「真理」というギリシャ語 (aletheia、アレーセイア) は、神聖なエコノミーのすべての実際を指しており、それは神聖な啓示の内容であり、聖なる御言によって包含され、伝達され、明らかにされます——ヨハネ17:17. 18:37。

2. 真理は神です。神は光と愛であって、肉体と成り、神聖な事物の実際となって、わたしたちの所有となります——1:1, 4, 14-17。

3. 真理はキリストです。キリストは肉体と成った神であって、彼の中には、神たる方の全豊満が肉体のかたちをもって住んでいます。それは、神と人の実際であり、旧約のすべての予表、型の実実際であり、神聖で霊的な事物すべての実際です——コロサイ2:9, 16-17. ヨハネ4:23-24。

4. 真理はその霊です。その霊は、かたちを変えたキリストであって、キリストの実際であり、神聖な啓示の実際です——14:16-17. 15:26. 16:13-15。

5. 真理は、神聖な啓示としての神の言であって、神とキリストの実際と、神聖で霊的な事物すべての実際とを、啓示し伝達します——17:17。

C. Ⅰヨハネの中心的な要因は、神聖な実際です——4:13-14. 5:6:

1. 神聖な実際とは、神聖なパーソンである、御父、御子、その霊が、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天を通して、わたしたちの経験、享受、構成要素となることです——ヨハネ1:14, 29. 20:22。
1. 神聖な実際とは、御父が御子の中におられることと、御子はその霊として、神の選ばれ、贖われ、再生された民の中へと分与されることであり、それは彼らが命、命の供給、すべてとして彼を享受するためです——14:6, 12-13, 16-20。

© 2022 *Living Stream Ministry*